

活動指導案

■基礎データ

実践団体名 朝倉台自主防災会

2009-37

① タイトル

全員参加を目指した「防災体験訓練」

② 活動の概要

「阪神淡路大地震」級の地震の発生を想定し住民の自助・共助行動を体験訓練(見学型から参加型へ)

③ 目標・ねらい

①全住民の防災活動の実践力を高める ②住民の自助・共助意識を高める

④ 活動で上げることが
できる力・能力

①全住民の防災活動の実践力 ②住民の自助・共助意識

⑤ 対象者

全住民

⑥ 活動・作業形態

避難訓練終了後、各避難場所で事前に訓練を受けた各町会の指導員および自主防災会の会員、消防署員の指導の下、防災活動を実践体験する。
訓練項目: テント設営、仮設トイレ設営、担架搬送、車椅子、リヤカー搬送、消火ポンプ操作、発電機操作、消火器による初期消火、煙道体験

⑦ 準備するもの
(道具・材料等)

大型テント、簡易テント、仮設トイレ、担架、車椅子、組み立て式リヤカー、小型消火ポンプ車、携帯発電機、粉末消火器、オイルパン、炊き出し用具

⑧ 所要時間

①事前講習: 約2時間 ②当日事前準備: 約1時間 ③訓練本番: 各会場で約1.5時間

⑨ 必要なマンパ
ワー(種類、人数)

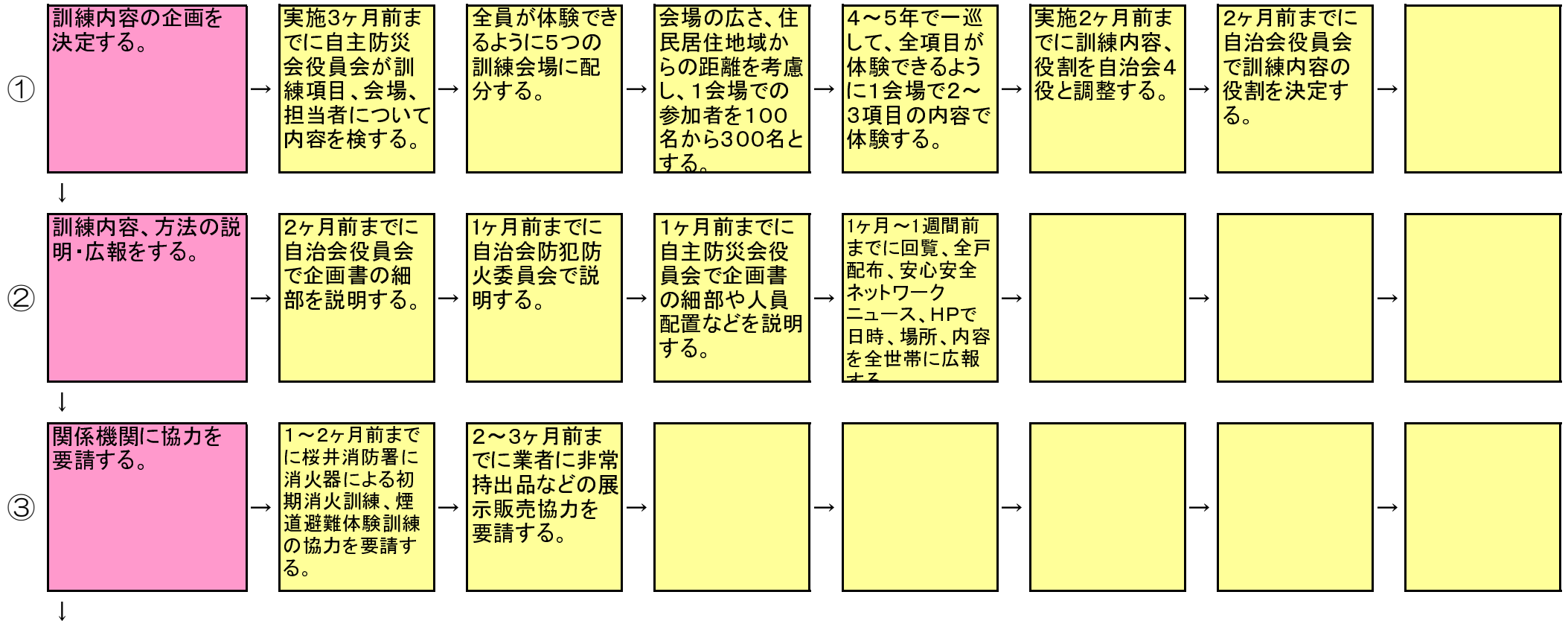
町会指導員: 各町会より2~4名 自主防災会会員: 各訓練会場で3~5名(訓練内容による)

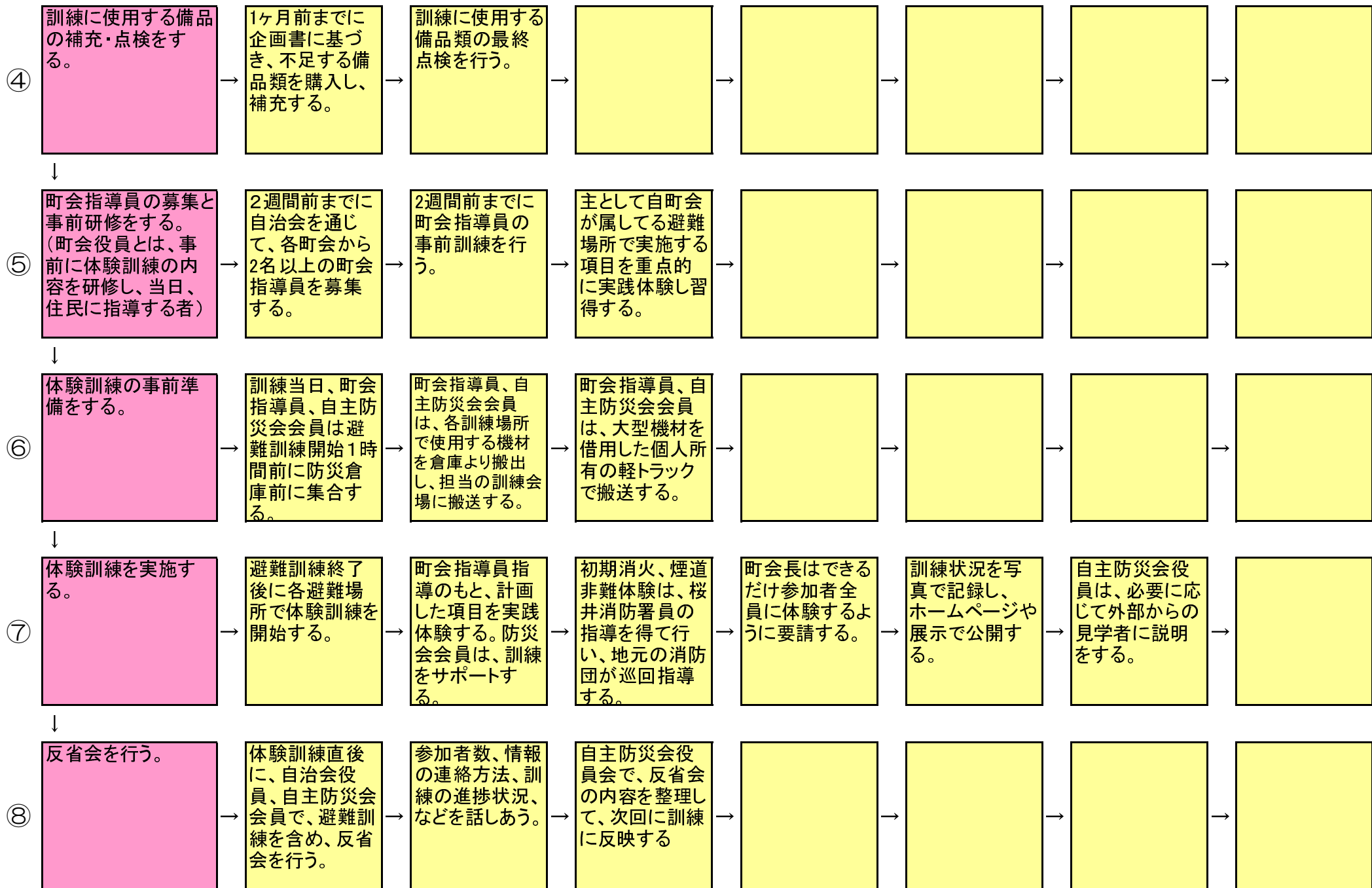
⑩ 必要経費
(所要額、財源)

ガソリン代、粉末消火器(5000円×5本)、炊き出し費2万円程 (自治会負担)

■活動の流れ

↓活動の流れ







■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

・体験者の累計人数 ・実際に体験した住民の数

②その他の評価

・実体験者の生の声

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

自治会と自主防災会が協力して行う。自治会が主体、自主防災会は企画、指導、サポート

②参考資料等

①体験訓練の活動写真②案内文

活動指導案

■基礎データ

① タイトル

全員参加を目指した「防災避難訓練」

② 活動の概要

「阪神淡路大地震」級の地震の発生を想定した住民の避難訓練

③ 目標・ねらい

①全住民の防災意識を高める ②地域住民のコミュニケーションを深める

④ 活動で上げることが
できる力・能力

①全住民の防災意識 ②地域のコミュニケーションの強化

⑤ 対象者

地域全住民

⑥ 活動・作業形態

自治会、自主防災会が連携して住民を安全に指定避難場所(住宅地内の5ヶ所の公園)に避難誘導し、安否を確認する

⑦ 準備するもの
(道具・材料等)

住民名簿(各町会各班ごと)、トランシーバー(10台)、メガホン(5~6台)、車載拡声装置(1式)

⑧ 所要時間

本番:約1時間、事前準備:約3時間

⑨ 必要なマンパ
ワー(種類、人数)

各町会ごとに2~3名(避難世帯確認、町内点検)、各避難場所ごとに1名(本部とのトランシーバー連絡担当)

実践団体名 朝倉台自主防災会

2009-38



⑩ 必要経費
(所要額、財
源)

事前広報用印刷物代、広報車ガソリン代、連絡機器用電池代 (財源は自治会費より)

■活動の流れ





■活動の評価方法

①数や両の変化による評価

・前年より参加者が増える ・訓練を継続する ・アンケート調査により住民の声を次年度の訓練に活かす

②その他の評価

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

①「避難訓練」と「体験訓練」をセットで行う。（参加者の興味を誘う） ②自治会の年間活動計画に組み込む。 ③自治会との連携

②参考資料等

①「朝倉台自主防災会ホームページ」②避難訓練活動写真③全戸配布の案内文

活動指導案

実践団体名 朝倉台自主防災会

■基礎データ

2009-39

① タイトル

避難者が調理する炊き出し訓練

② 活動の概要

災害時の住民への給食活動の一つとして汁ものの炊き出しの訓練を行う。

③ 目標・ねらい

住民の手による給食活動を可能にする。

④ 活動で上げることが
できる力・能力

①炊き出しの調理技術の充実 ②調理可能者の拡大

⑤ 対象者

地域住民

⑥ 活動・作業形態

避難訓練時に避難場所で調理要員を募集して炊き出しを行う

⑦ 準備するもの
(道具・材料等)

大根などの野菜、豚肉(入手できれば)、粉末だし、味噌 焚き火用ドラム缶、七輪、大なべ、寸胴鍋、まな板、包丁、お玉、ザル、薪、木炭
使い捨て食器、割りばし、ポリタンク、洗剤、たわし

⑧ 所要時間

約2時間 (300名分)

⑨ 必要なマンパ
ワー(種類、人数)

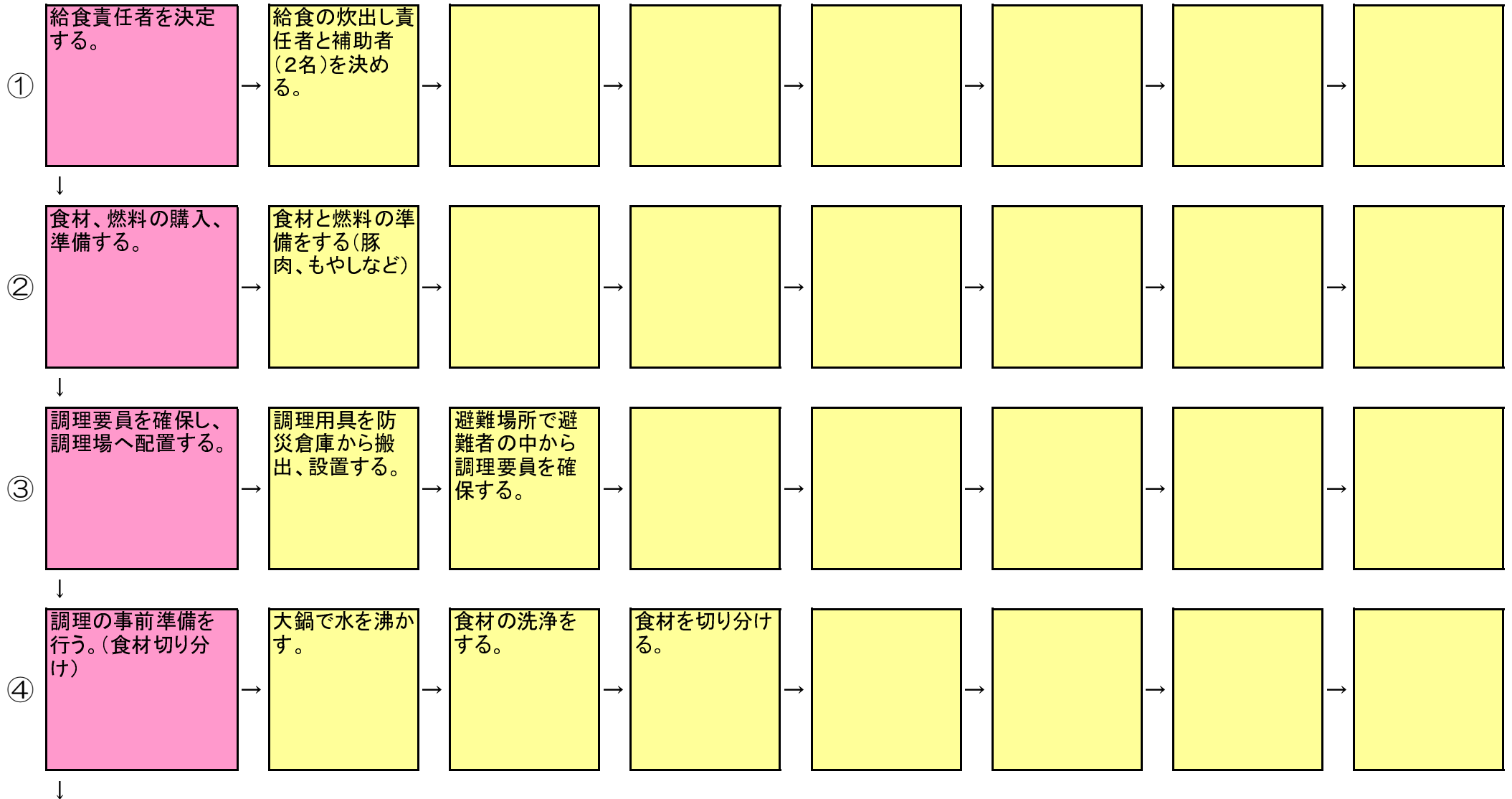
5~10名 (調理要員、配給要員)

⑩ 必要経費
(所要額、財源)

2万円程度(食材、食器、調味料)

■活動の流れ

↓活動の流れ



⑤

調理を開始する。
(加工)

大鍋又は寸胴
鍋にお湯を少な
めに入れる。

お湯を沸かし、
食材を入れる。

食材が煮えた
状態になると、
お湯を追加す
る。

味噌を入れ、加
熱する。

味見を行い、調
味する。



⑥

配給する。

配給要員が使
い捨て容器に入
れて、配る。

■活動の評価方法

①数や量の変化による評価

①配食数の増減 ②調理時間 ③調理要員参加者の人数

②その他の評価

給食者の味の評価が高い

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

食材の差し入れがある

②参考資料等

①炊き出し訓練の写真②レシピ

活動指導案

実践団体名 朝倉台自主防災会

■基礎データ

2009-40

① タイトル

自主防災会(自治会)の可能な広報戦略

② 活動の概要

情報を周知徹底するため、多角的な情報伝達手段を習得・活用し、正確で継続した情報の提供を図る

③ 目標・ねらい

①各種情報の周知徹底 ②有用情報の告知 ③情報伝達手段の習得

④ 活動で上げることが
できる力・能力

①各種情報量の拡大(受信側) ②情報の伝達能力を高める(発信側)

⑤ 対象者

全住民

⑥ 活動・作業形態

各種手段(①全戸配布 ②回覧・掲示板 ③ネットワークニュース発行 ④インターネット活用 ⑤広報車による情報の伝達)

⑦ 準備するもの
(道具・材料等)

印刷機、パソコン、ホームページビルダー、車載用拡声装置、車

⑧ 所要時間

①全戸配布:作成、印刷2~4時間×3回 ②回覧:作成、印刷2~3時間×2回 ③ネットワークニュース:作製2時間×12回(ネットワークの中で) ④インターネット:更新2時間×随時(作製、更新時間は内容により変化) ⑤広報車巡回:約1時間/1回×4回

⑨ 必要なマンパ
ワー(種類、人数)

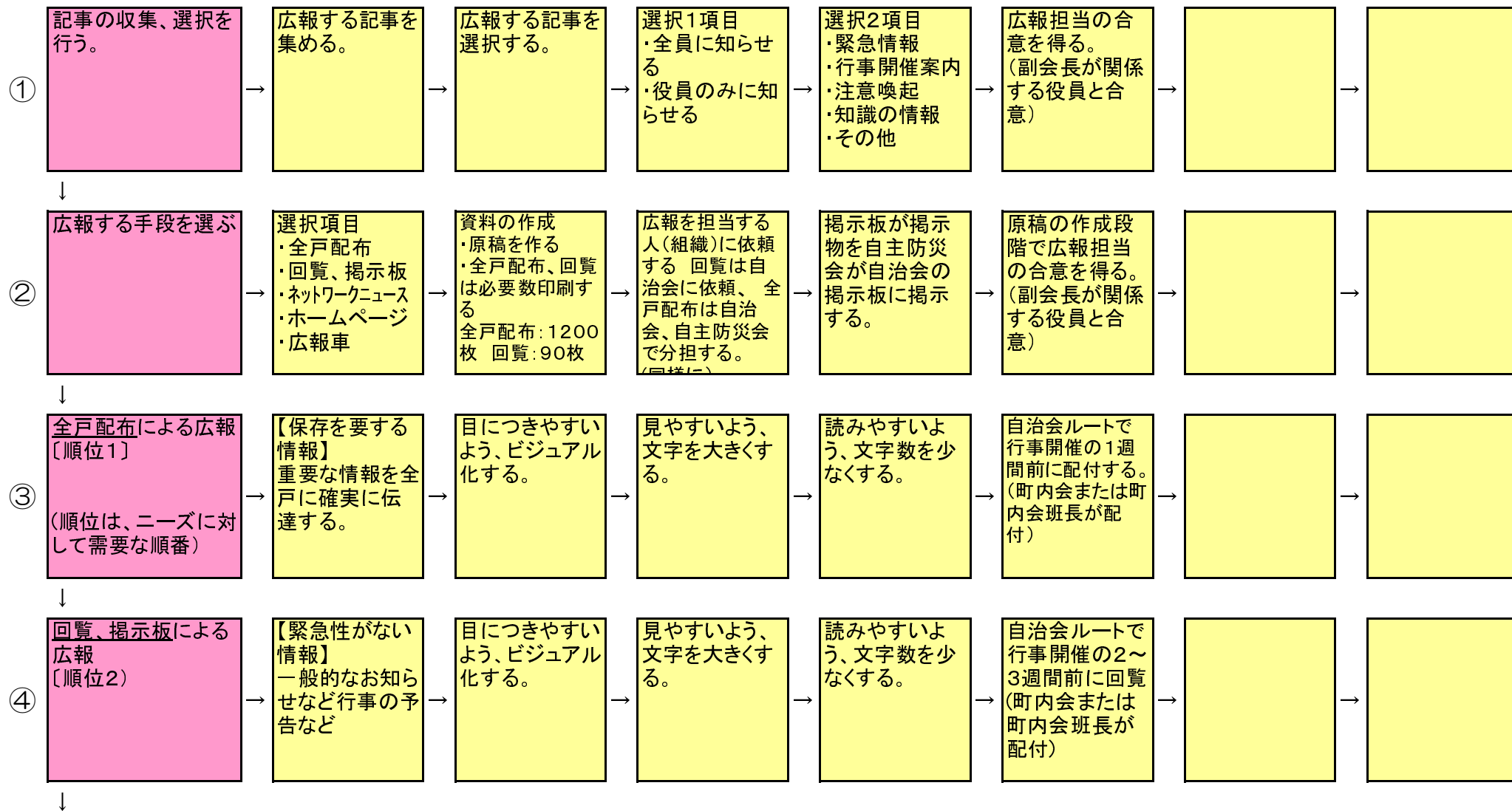
各手段担当:各1~2名 (マンパワー:上記所要時間×1~2名)

⑩ 必要経費
(所要額、財源)

紙代:全戸配布 700円/回 回覧 70円/回 インターネット接続料:6,500円/月 ガソリン代 100円/回
財源 :全戸配布2回分、ガソリン代=自主防 その他=自治会

■活動の流れ

↓活動の流れ





■活動の評価方法

①数や両の変化による評価

・伝達した行事への参加者が増える ・インターネットのアクセス数が増える ・情報伝達者の数が増える

②その他の評価

感謝の声が届く

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

・重要な情報は必ず複数のツールで伝達すること

②参考資料等

朝倉台自主防災会ホームページ <http://www4.kcn.ne.jp/~t-ogino/>

活動指導案

実践団体名 朝倉台自主防災会

■基礎データ

2009-41

① タイトル

防災学習と親睦を兼ねた手作りの「現地研修会」

② 活動の概要

被災地、防災体験施設などを巡る研修バスツアー

③ 目標・ねらい

①災害の被害状況を現場で実感する。②体験施設で体感する。③会員、住民の親睦を図る

④ 活動で上げることが
できる力・能力

①「百聞は一見にしかず」で災害の怖さを知る ②「備えよ常に」の心構えを養う ③会員の結束力

⑤ 対象者

会員だけでなく地域住民へも参加を募集する

⑥ 活動・作業形態

貸切バスで現地を巡る

⑦ 準備するもの
(道具・材料等)

参加者名簿、行程表、参加者リボン、おやつ(個別袋入り)

⑧ 所要時間

1日(7時30分ごろ出発、19時ごろ帰着)

⑨ 必要なマンパ
ワー(種類、人数)

3~5人(事前準備と当日引率)

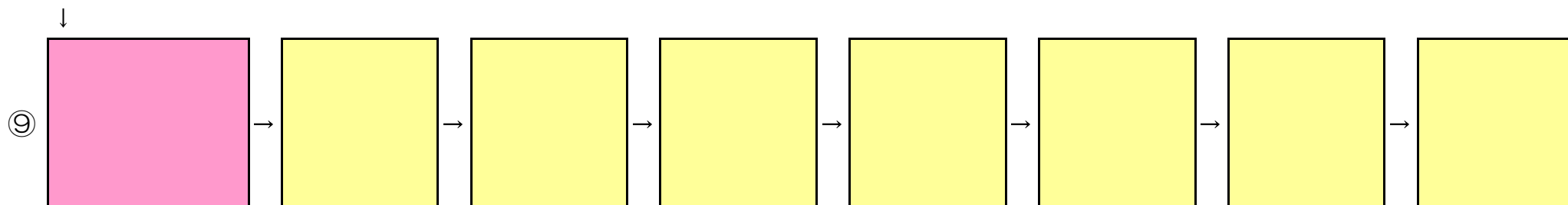
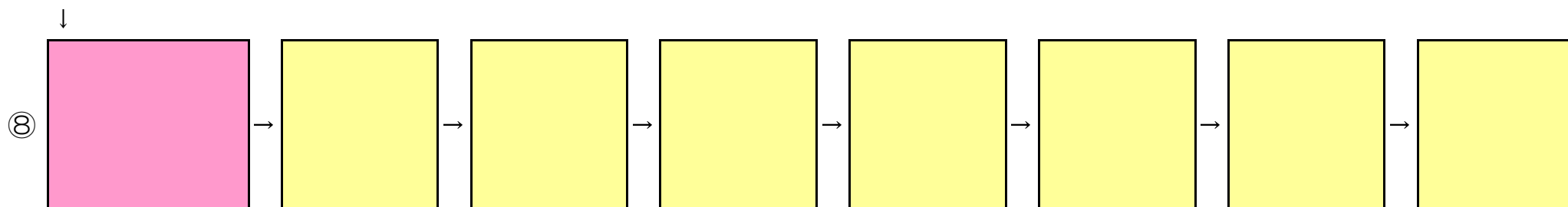
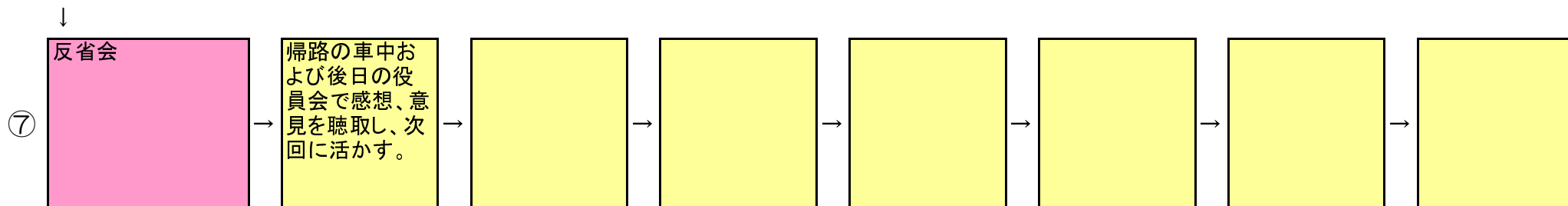
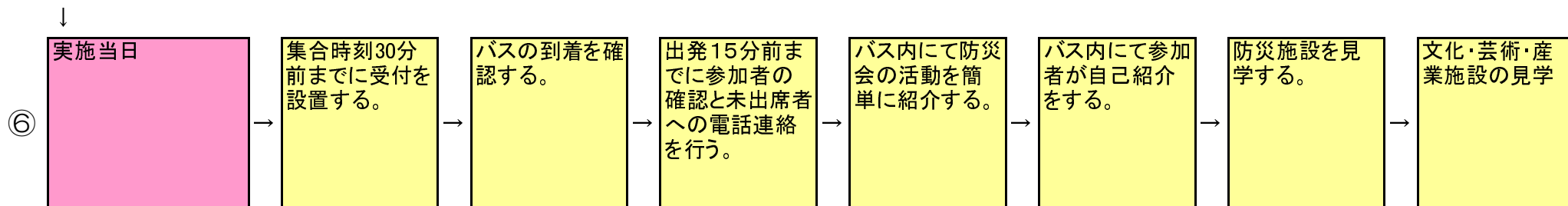
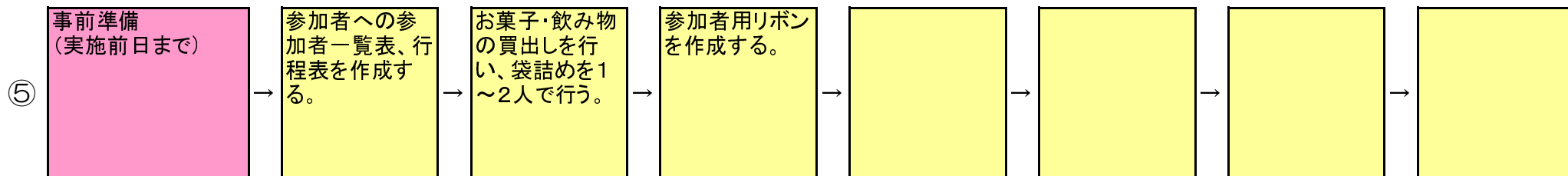
⑩ 必要経費
(所要額、財源)

全額自己負担(7,500~9,000円 昼食付)

■活動の流れ

↓活動の流れ





■活動の評価方法

①数や両の変化による評価

①参加者数 ②会員以外の参加者数

②その他の評価

①防災意識の向上につながったか ②地域内住民の親睦につながったか

■備考・その他（活動のコツなど）

①活動のコツなど

- ・バスの発着場所を住宅地内集会所前にすることで参加しやすい。
- ・昼食付きにすることで参加者の準備が少なくなる。
- ・防災を第一目的とするが、文化施設・観光地を行程に入れること。

②参考資料等

①現地研修会行き先一覧②研修会風景写真

現地研修 行き先 一覧	
実施年月	行き先
1998/9	奈良市防災センター
1999/4	北淡町 野島断層、キリンビール神戸工場
2000/7	神戸港震災メモリアルパーク
2001/4	根尾谷断層、薄墨桜
2002/4	木曾川三川公園、輪中の里、なばなの里
2003/4	神戸人と防災未来センター、神戸ハーブ園
2004/7	浜名湖花博
2005/4	名古屋 愛・地球博 （バス2台）
2006/6	琵琶湖博物館、近江八幡
2007/6	国際大塚美術館、鳴門大橋
2008/4	名古屋港防災センター、トヨタ産業博物館
2009/4	岡崎城、八丁味噌カクキュー、キリンビール名古屋